

レギュラトリーサイエンス(RS)とは何か RSの実践とCOVID-19の考察

”レギュラトリーサイエンス (RS)”は、1987年に内山充博士により提唱されました。科学技術のもたらす成果を良いことも、悪いことも的確に予測する「評価科学」と、その上で、人間・社会との調整を実現する「行政科学（適正規制科学）」の2つの要素からなるものと定義するとともに、そのお考えを、国内にとどまらず、国外に向けても発信されたことでも知られています。

アカデミア・企業・規制当局にとって共通の、人類・社会に貢献を目指す「倫理的な科学・工学」とも称されるRSですが、その実践において、具体的なイメージはお持ちでしょうか？ RSの成り立ちからPMDAでの導入と実践、最近注目の事例をもとに近藤理事長がお話しいたします。

日時：2020年4月30日（木） 1:30-2:30 p.m.（日本時間）

お問い合わせ先

reg-event@me-jp.org

MEJセミナー事務局

MEJセミナーは、一般社団法人 Medical Excellence JAPANの企業会員・フォーラム会員であれば、どなたでも無料でご参加をいただけます。アーカイブ映像も随時MEJ会員限定ホームページに掲載予定です。当面の間は、Web会議ソフト（ZOOM）を利用したオンラインセミナーとして実施いたします。

アフリカと日本の「感染症」に対する認識の違い ～最適なリスクコミュニケーションとは何か？～

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が全世界に拡大しています。国連アフリカ経済委員会（UNECA）は、アフリカでCOVID-19により少なくとも30万人が死亡し、2900万人が極度の貧困に陥る恐れがあるとして、1000億ドルの支援を諸外国に呼びかけました。アフリカ地域54カ国でこれまでに確認された感染者は2万人以下と、比較的抑制されている状態にあると言われているものの、世界保健機関（WHO）は、向こう3-6か月の間に1000万人まで増大すると警告しています。

人口増に伴う経済成長が見込まれることから、世界最後のフロンティアとして脚光を浴びてきたアフリカ大陸です。今後ビジネスや交流を再開していく上で、COVID-19を共通項として扱うために、我々日本人が考慮すべきポイントは？ 予防や流行時の対応・認識に、どのような違いがあるのか？ 杉下先生に詳しくお話しいたします。

日時：2020年4月28日（火） 11:00-12:00 a.m.（日本時間）

お問い合わせ先

reg-event@me-jp.org

MEJセミナー事務局

MEJセミナーは、一般社団法人 Medical Excellence JAPANの企業会員・フォーラム会員であれば、どなたでも無料でご参加をいただけます。アーカイブ映像も随時MEJ会員限定ホームページに掲載予定です。当面の間は、Web会議ソフト（ZOOM）を利用したオンラインセミナーとして実施いたします。